

1から学ぶ中学受験算数 ~第77回 やりとり算②~

氏名：

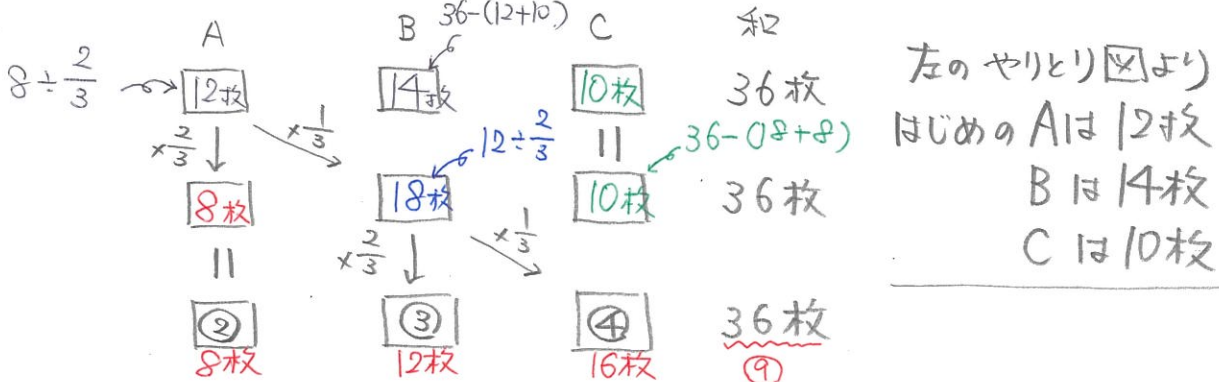
解答・解説

例1 A, B, Cの3人がカードを合計36枚持っています。

はじめに、Aが持っているカードの $\frac{1}{3}$ をBにわたしました。

次にBがそのとき持っているカードの $\frac{1}{3}$ をCにわたしたところ、3人が持っている

カードの枚数は2:3:4になりました。はじめのA, B, Cのカードは何枚ですか。



⑨ = 36枚なので ② = 4枚 × 2 = 8枚  
① = 36枚 ÷ 9 = 4枚 ③ = 4枚 × 3 = 12枚  
④ = 4枚 × 4 = 16枚

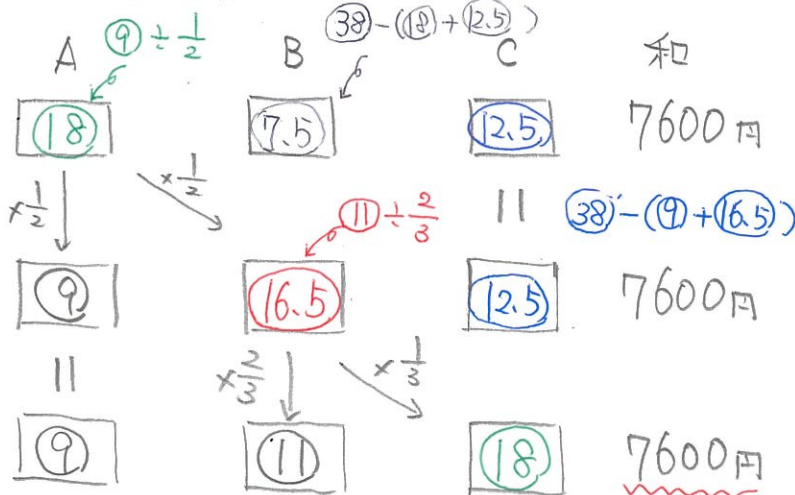
例2 A, B, Cの3人がそれぞれお金を持っています。

はじめに、Aが所持金の半分をBにわたしました。

次に、Bが所持金の $\frac{1}{3}$ をCにわたしたところ、Cの所持金はAのはじめの所持金と

同じになりました。また、AとBの所持金は9:11になっていました。

3人の合計金額が7600円とするとき、はじめのA, B, Cの所持金は何円ですか。



③8 = 7600円なので

① = 7600円 ÷ 38 = 200円

だから

はじめのAは、200円 × 18 = 3600円、

Bは 200円 × 7.5 = 1500円、

Cは 200円 × 12.5 = 2500円、